



令和3年度 校長だより

令和4年3月24日(木)

大野の風

No. 14

文責 松下 義彦

一年間を終えるにあたり

3年生が卒業し、1・2年生だけの学校生活が始まり約二週間がたちます。16日(水)には、公立高校の合格発表があり、3年生もそれぞれの進路に向かって歩み始めました。ぜひ、卒業生のみなさんには自分の夢を叶えるために頑張ってもらいたいと思います。

そして、はやいですが、2年生のみなさんも、あと一年で中学校を巣立って次の進路に向かうこととなります。一年がたつのはあっという間です。自分の進むべき道を今のうちから見据えて、これからの学校生活を一日一日、大切に過ごしてください。

本日の修了式で1年生・2年生のみなさんに「全課程を修了したことを証する」という修了証書を渡しました。この修了証書は、みなさんが1年生・2年生で学習する全てのことを身につけて、次の学年に進むことを認めるものです。これから次のステップに向けて自分の決めた目標に向かって進んでほしいと思います。

さて、みなさんは、この一年間を振り返ってみてどうだったでしょうか。年度当初に立てた目標は達成できたでしょうか。校長先生はこの一年間、みなさんが「学校が楽しい」「みんなで何かをすることが楽しい」「授業に主体的に取り組んでいる」「授業がよく分かる」と実感できる、魅力ある学校づくりを目標に様々な取り組みを進めてきました。アンケートの結果から一年間を振り返ると、「学校が楽しい」「みんなで何かをすることが楽しい」「授業に主体的に取り組んでいる」の三つの項目ではほとんどの人が実感できていたので、その点では目標がだいたい達成できたかなと思っています。

しかし、「授業がよく分かる」という項目については、他の項目に比べると実感できた人の割合が若干少なかったようでした。この結果を基に新学期からは先生たちにも、もっとみなさんに分かる授業をするようお願いしたいと思っています。しかし、先生たちだけが頑張ってもだめです。人からやりなさいと言われても授業が分かるようにはなりません。君たち自身が、自分で分かるようになりたいと思う気持ちをもつこと、そして、分かるための努力をすることが必要です。

そこで、みなさんにも授業が分かるようになるために復習や宿題等の家庭学習を定着させてもらいたいと思います。そのためにも新学期になってからでは遅いです。この年度末の二週間の休みを生かして、この一年間の復習をするなど、家庭学習が定着するように頑張ってもらいたいと思います。

みなさんは、多くの可能性を秘めています。そして、努力によって未来への可能性はどこまでも広げることができます。ぜひ、授業が分かるようになるための行動を起こしてください。

話は変わりますが、1年生・2年生はそれぞれ学年が上がります。そして、あと二週間ちょっとで新1年生が入学してきます。新2年生は、後輩に教えたり、手助けをしたりする立場となります。自分のことだけでなく、周りのことを気遣い、考えて行動できる人になってください。

新3年生は、最上級生です。新しく決まる生徒会のスローガンを実際に行動にうつせる大野中生になってほしいと思います。このコロナ禍の中、全校生徒と一緒に活動する機会も制限されるかと思いますが、下級生を引っ張っていくことができる上級生になることを期待しています。

それでは、これからもみなさんがすばらしい大野中学校を築いてくれることを願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様、この一年間生徒へのご支援並びに本校教育に対しましてのご協力ありがとうございました。コロナ禍の中、思うような活動ができなく残念な気持ちでいっぱいですが、子供たちは精一杯自分たちができることを頑張ってくれたと思っています。これからも、大野中学校の生徒たちのためにご支援・ご協力をよろしく願っています。